

平成30年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

上下水道部

.....目

次.....

| 款 項 目 大 事 業 | ペ ー ジ |
|-----------------|-------|
| [下水道事業会計] | |
| 平成30年度下水道事業会計予算 | 8 - 1 |
| 公共下水道整備事業 | 8 - 2 |
| 特定環境保全公共下水道整備事業 | 8 - 3 |

事 業 説 明 書

下水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 下水道事業の推進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

『事業名』 **下水道事業**

【30年度】 **5,762,379** 千円 【29年度】 **3,896,111** 千円 【増減額】 **1,866,268** 千円

※30年度事業費の財源内訳

| 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
|----------------|------|----------------|------------------|------------------|
| 226,943 | | 937,600 | 2,487,182 | 2,110,654 |

下水道事業会計

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

【平成30年度末目標】

- 接続率 84.4% (接続率 = 接続人口 56,888人 / 処理区域内人口 67,397人)
- 業務予定量
 - ・接続戸数 14,110戸
 - ・年間有収水量 3,850千m³
 - ・一日平均処理量 10,547m³
 - ・建設改良事業 699,418千円

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- ・下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・未整備地域の解消を図るとともに、財政状況や事業を取り巻く情勢から、中長期的な見通しと課題を整理し、持続可能な事業運営が必要である。
- ・施設の老朽化に対応するため「長寿命化対策」に取り組み、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と30年度事業の概要)

公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図るため、下水道を整備し公共水域の水質保全を図る。また、処理施設の老朽化に対応するため、計画的な改築更新を行っていく。

【収益的収支予算】

| | |
|---------|--------------|
| 下水道事業収益 | 3,696,247 千円 |
| 営業収益 | 649,602 千円 |
| 営業外収益 | 3,046,644 千円 |
| 特別利益 | 1 千円 |
| 下水道事業費用 | 3,122,505 千円 |
| 営業費用 | 2,657,227 千円 |
| 営業外費用 | 457,278 千円 |
| 特別損失 | 3,000 千円 |
| 予備費 | 5,000 千円 |

【資本的収支予算】

| | |
|----------|--------------|
| 資本的収入 | 1,769,620 千円 |
| 企業債 | 937,600 千円 |
| 他会計出資金 | 578,005 千円 |
| 国庫補助金 | 226,943 千円 |
| 分担金及び負担金 | 27,072 千円 |
| 資本的支出 | 2,639,874 千円 |
| 建設改良費 | 699,418 千円 |
| 固定資産購入費 | 215 千円 |
| 企業債償還金 | 1,940,241 千円 |

※収入額が支出額に対し不足する額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額31,162千円、当年度分損益勘定留保資金839,092千円で補てんする。

事 業 説 明 書

下水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

『事業名』 下水道事業 公共下水道整備事業

【30年度】 **589,600** 千円 【29年度】 **419,428** 千円 【増減額】 **170,172** 千円

| | | | |
|---------|------------|------------|------------|
| (うち補助分) | 413,600 千円 | 298,719 千円 | 114,881 千円 |
| (うち単独分) | 176,000 千円 | 120,709 千円 | 55,291 千円 |

※30年度事業費の財源内訳

| 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
|----------------|------|----------------|---------------|------|
| 206,800 | | 345,300 | 37,500 | |
| (補助分) 206,800 | | 180,000 | 26,800 | |
| (単独分) | | 165,300 | 10,700 | |

下水道事業会計

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

【平成30年度末目標】

公共下水道 (公共下水道・特定環境保全公共下水道)

- ①普及率 41.7% (普及率 = 処理区域内人口 34,835人 / 住民基本台帳人口 83,578人)
- ②進捗率 93.3% (進捗率 = 処理区域内人口 34,835人 / 計画処理区域内人口 37,320人)

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。
- ・大曲及び神岡地域とも、単年度の計画事業は概ね予定どおり順調に実施されている。
- ・29年度末普及率は41.1%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・未整備地域の解消を図るとともに、財政状況や事業を取り巻く情勢から、中長期的な見通しと課題を整理し、持続可能な事業運営が必要である。
- ・施設の老朽化に対応するため「長寿命化対策」に取り組み、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と30年度事業の概要)

公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図るため、下水道を整備し公共水域の水質保全を図る。また、処理施設の老朽化に対応するため、計画的な改築更新を行っていく。

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 費 | | 事 業 概 要 |
|------|---------|---|---------|
| | (補助分) | | |
| | (単独分) | | |
| 大曲地域 | 489,600 | 管路工事 L=3,432.15m (福田町・大花町・幸町) 公共ます設置工事 管路実施設計 ストックマネジメント実施計画策定 | |
| | 333,600 | | |
| | 156,000 | | |
| 神岡地域 | 100,000 | 管路工事 L=659.20m (宮田・上栗谷田・荒屋・新道地区) | |
| | 80,000 | | |
| | 20,000 | | |
| 合 計 | 589,600 | | |
| | 413,600 | | |
| | 176,000 | | |

事 業 説 明 書

下水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

『事業名』 下水道事業 特定環境保全公共下水道整備事業

【30年度】 **63,131** 千円 【29年度】 **128,717** 千円 【増減額】 **△ 65,586** 千円

| | | | |
|---------|-----------|------------|-------------|
| (うち補助分) | 38,257 千円 | 104,307 千円 | △ 66,050 千円 |
| (うち単独分) | 24,874 千円 | 24,410 千円 | 464 千円 |

※30年度事業費の財源内訳

| 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
|---------------|------|---------------|---------------|------|
| 20,143 | | 32,900 | 10,088 | |
| (補助分) 20,143 | | 16,000 | 2,114 | |
| (単独分) | | 16,900 | 7,974 | |

下水道事業会計

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

【平成30年度末目標】

公共下水道（公共下水道・特定環境保全公共下水道）

- ①普及率 41.7% （普及率 = 処理区域内人口 34,835人 / 住民基本台帳人口 83,578人）
- ②進捗率 93.3% （進捗率 = 処理区域内人口 34,835人 / 計画処理区域内人口 37,320人）

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- ・下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。
- ・管路工事のある南外地域は単年度の計画事業は予定どおり実施されている。
- ・29年度末普及率は41.1%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・未整備地域の解消を図るとともに、財政状況や事業を取り巻く情勢から、中長期的な見通しと課題を整理し、持続可能な事業運営が必要である。
- ・また、あわせて施設の老朽化に対応し健全性を確保するため「長寿命化対策」に取り組み、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と30年度事業の概要)

公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図るため、下水道を整備し公共水域の水質保全を図る。また、処理施設の老朽化に対応するため、計画的な改築更新を行っていく。

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 費 | | 事 業 概 要 |
|-------|--------|-------|---|
| | (補助分) | (単独分) | |
| 西仙北地域 | 27,221 | | 強首浄化センター長寿命化対策 機械・電気設備更新工事（最終沈殿池設備、クレーン類物あげ設備、ポンプ類、計測設備、監視制御設備）、工事監理業務委託 |
| | 22,510 | | |
| | 4,711 | | |
| 南外地域 | 29,010 | | 管路工事 L=354.75m（小出地内） |
| | 15,747 | | |
| | 13,263 | | |
| 仙北地域 | 6,900 | | マンホール内防食等改修工事設計業務委託 マンホール内防食等改修工事 |
| | 0 | | |
| | 6,900 | | |
| 合 計 | 63,131 | | |
| | 38,257 | | |
| | 24,874 | | |